

## 第2学年 外国語科学習指導案

日時 令和4年11月22日(火) 5校時  
指導者 JTE 小森 麻美  
ALT Rudy Pavlov  
場所 小講堂

### 1 単元名

Unit 6 Work Experience ( Here We Go! ENGLISH COURSE 2 )

### 2 単元について

#### ○教材観

本単元の題材は、職場体験であり、主にコウタが体験したことや、その感想をふまえたスピーチを行っている場面が描かれている。また、スピーチについて、教室でやり取りするシーンもある。教科書における単元のゴールは、エリの職場体験のレポートから職場で体験したことや感想などを読み取ることができること、また職場で体験したことや感想などを伝えるレポートを書くことができることに設定されている。しかし、コロナ禍で、実際に職場体験を行うことができていない本校の状況を鑑み、単元の「書くこと」のゴールは、職場体験体プログラムに参加するための志願書を書くことに設定した。

新出言語材料として、不定詞副詞的用法、接続詞 because が加わる。自分の将来と結びつけ、英語を勉強する目的や自分が興味・関心のあることについて、理由とともに表現できるように指導していきたい。

教科書では、実際にコウタが職場体験を行っている場面、それをクラスメートに発表している場面、そして、その後、教室でやり取りするという一連の場面がある。リスニング活動の中にも、教科書の登場人物が、職場体験でそれぞれの仕事を楽しかった理由や大変だったと思う理由が話されている。職場体験での経験を読んだり、聞いたりする活動を通して、生徒が自分に置き換えて表現するときに使えるような表現への意識づけを行っていく。その際、自分たちも志願書を書くに当たって参考にできる部分はないか、どのような工夫がされているかといった表現にも着目させて、教科書を活用し、生かしていくことについても意識を向けさせていきたい。

最終活動では、職場体験プログラムに参加するための志願書を書く活動を行う。目的・場面・状況を明確にしたやり取りや、スモールトークを通して、書く内容が深まるような授業を展開したい。

#### ○生徒観

本学級の生徒は、男子15名、女子15名、計30名のクラスである。英語の授業に真面目に取り組む生徒が多いが、やや控えめな雰囲気である。5月に実施した英語教育改善プラン推進事業のアンケートでは、「英語の勉強は大切だと思う」に対して約9割の生徒が肯定的に答えている。「話すこと [やり取り]」については、スモールトークやALTとのQ and Aなどを繰り返し行ってきており、抵抗感が少ないように思える。しかし、「書くこと」に対しては、昨年度の授業アンケートの結果から苦手意識を持っている生徒が多い。これは、「話すこと [やり取り]」から「書くこと」へと統合的につなげていく効果的な指導ができていないことに起因していると考えられる。そこで、教科書の多様な表現に触れ、自分の考えを書く際に活用できそうな表現に着目させたい。そして、少しずつ自分の言葉で書けるように授業を実践していきたいと考えている。

### ○指導観

本単元では、職場体験という場面でストーリーが展開し、最終の Goal は、エリの職場体験のレポートを読み取ることと、生徒自身が職場体験のレポートを書くことを目標としている。しかし、先述したとおり、コロナ禍ということもあり、本校では職場体験を行っておらず、実際の職場体験について書くことは困難である。そこで、Unit 6 に出てくるコウタのレポートや、リスニング活動で出てくるエリ、ティナ、ハジンの職場体験での様子に触れながら、生徒自身が将来を考えるきっかけとし、自分の夢や職場体験で行ってみたいところなどについて英語で表現させたい。

指導にあたっては、個人のペースに合った読みを促すために、学習者用デジタル教科書を効果的に使用していきたい。特に、英語が苦手な生徒にとって、音声は、読むことにおいて補助的な役割を担うことが考えられる。それは、デジタル教科書使用の利点である。繰り返し音読したり、内容について英語でのやり取りを通して理解を深めたりしながら、教科書にある表現や相手にとって分かりやすい伝え方などを、自分のものにできるよう指導をしていく。その際、デジタル教科書の音声を頼りにしながら、教科書に凝らされた様々な工夫に気づかせ、多様な表現を自分で活用できるようにさせたい。毎回の授業で、内容面、言語面ともに確実に積み重ねていけるように授業を仕組んでいきたいと考える。

「書くこと」については、日記を書く、メールを送るなどの活動を行ってきたが、やり取りに比べると書くという経験が少ないのも事実である。日頃の授業の中でのライティング活動を生かして、少しずつ自分の言葉でまとまりのある文を書けるように授業を実践していきたいと考えている。

### 3 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標（第2学年）

「読むこと」	「書くこと」
日常的な話題やストーリーについて簡単な語句や文で書かれた文章から大まかな内容を捉えることができる。	身近な話題について自分の考えや意見・感想などを相手に伝わりやすいように、まとまりのある文で書くことができる。

### 4 単元の目標

- 職場体験プログラムの志願書を書くために、登場人物の職場体験スピーチやレポートの概要を捉えることができる。
- コロナ後、職場体験プログラムに参加するために、自分の考えを友達とやり取りして、志願書を書くことができる。

### 5 言語材料

- 表現 不定詞の副詞的用法（目的・原因） / 接続詞 because
- 語彙 experience, through, Nepal, girlfriend, language, abroad, arts and crafts, able, communicate, because, teach(ing), stand(ing), child, children, pay, attention, surprising, preparation, again, glad, exam, week, won, prize, faild(ed), lose, match, staff, touch, shrimp(s), starfish, stood, introduce, question(s), answer, sea, living, living thing(s), anyway

6 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞の副詞的用法や接続詞 because の構文を理解している。</li> <li>不定詞の副詞的用法や接続詞 because を使った英文の理解を基に、職場体験について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。</li> </ul>	<p>職場体験プログラムの志願書を書くために、登場人物の職場体験スピーチやレポートの概要を捉えている。</p>	<p>職場体験プログラムの志願書を書くために、登場人物の職場体験スピーチやレポートの概要を捉えようとしている。</p>
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞の副詞的用法や接続詞 because の構文について理解している。</li> <li>職場体験について、自分の考えや感想などを不定詞の副詞的用法や接続詞 because などを用いて、まとまりのある文を書く技能を身につけている。</li> </ul>	<p>コロナ後、職場体験プログラムに参加するために、自分の考えを友達とやり取りして、志願書を書くことができる。</p>	<p>コロナ後、職場体験プログラムに参加するために、自分の考えを友達とやり取りして、志願書を書こうとしている。</p>

※表記上、ア：「読むこと」知識・技能、イ：「読むこと」思考・判断・表現、ウ：「読むこと」主体的に学習に取り組む態度  
エ：「書くこと」知識・技能、オ：「書くこと」思考・判断・表現、カ：「書くこと」主体的に学習に取り組む態度 とする。

7 指導と評価の計画(9時間)

時間	目標(◆) 主な言語活動(○)	評価			
		知	思	態	◎評価規準 <評価方法>
1	<p><b>◆扉 Unit 6 の音声を聞き、教科書本文の概要を理解する。</b></p> <p>○Small Talk When you were in elementary school, what did you want to be in the future?</p> <p>○扉のページの Oral Interaction を教師と行う。 1 回目：音声のみを聞く。 2 回目：映像をヒントに概要をつかむ。</p> <p><b>◆単元の目標を理解する。</b></p> <p><u>・職場体験プログラムの志願書を書くために、登場人物の職場体験スピーチやレポートの概要を捉えることができる。</u></p> <p><u>・コロナ後、職場体験プログラムに参加するために、自分の考えを友達とやり取りして、志願書を書くことができる。</u></p>				<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p>★生徒は毎時間振り返りシートへの記入を行う。</p>

	○振り返り			
2	<p><b>◆Part 1 Kota の職場体験先での様子を読み取る。</b></p> <p>○Small Talk</p> <p>What do you want to be in the future?</p> <p>○Read 教科書の本文を聞いたり、読んだりして概要を捉える。(教科書を読む際には、必要に応じて学習者用デジタル教科書を使用する。内容理解のやり取りは英語で行う。)</p> <p>○教科書の穴埋めをしながら音読する。</p> <p>○Listen Nick と Tina の会話から、Nick が日本語を勉強する理由を聞き取る。</p> <p>○振り返り</p>			★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
3	<p><b>◆Part 1 英語を勉強する目的を友達と伝え合う。(やり取り・書く)</b></p> <p>○Small Talk</p> <p>Why do you come to school?</p> <p>○不定詞副詞的用法(目的)の使い方を理解する。</p> <p>○Speak 英語を勉強する目的を友達とやり取りする。</p> <p>○Write 自分と友達の英語を勉強する目的を書く。</p> <p>○振り返り</p>			★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
4	<p><b>◆Part 2 Kota の職場体験のスピーチを読み取る。</b></p> <p>○Small Talk</p> <p>Why do you come to school?</p> <p>○Read 教科書の本文を聞いたり、読んだりして概要を捉える。(教科書を読む際には、必要に応じて学習者用デジタル教科書を使用する。内容理解のやり取りは英語で行う。)</p> <p>○教科書の穴埋めをしながら音読する。</p> <p>○Listen Eri、Tina、Hajin の職場体験の様子を聞き取る。</p> <p>○振り返り</p>			★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
5	<p><b>◆Part 2 自分が楽しいと思うこと・思わないことを理由とともに伝え合う。(やり取り・書く)</b></p> <p>○Small Talk</p> <p>What are you good at?</p> <p>○接続詞 because の使い方を理解できる。</p> <p>○Speak 自分が楽しいと思うこと・思わないことを理由とともに友達とやり取りする。</p> <p>○Write やり取りした内容をもとに、自分が楽しいと思うことを理由とともに書く。</p> <p>○振り返り</p>			★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
6	<p><b>◆Part 3 Kota のスピーチ後の教室でのやり取りを読み取り、そのスピーチの感想を一言書く。</b></p>			★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

	<p>○Small Talk</p> <p>○Read 教科書の本文を聞いたり、読んだりして概要を捉える。(教科書を読む際には、必要に応じて学習者用デジタル教科書を使用する。内容理解のやり取りは英語で行う。)</p> <p>○教科書の穴埋めをしながら音読する。</p> <p>○Write Kota のスピーチの感想を一言書く。</p> <p>○振り返り</p>				残す評価は行わない。
7	<p><b>◆Part 3 セリフを使う場面を考え、ロールプレイで発表する。</b></p> <p>○Small Talk</p> <p>What do you like doing at school? And why?</p> <p>○Listen それぞれの会話の最後に入るセリフを選ぶための場面を聞き取る。</p> <p>○不定詞副詞的用法(原因)の使い方を理解できる。</p> <p>○Speak セリフを使う場面を考え、発表する。</p> <p>○Write ロールプレイで話した内容を書く。</p> <p>○振り返り</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
8 本 時	<p><b>◆コロナ後、職場体験プログラムに参加するために、Eri が書いたレポートを読み、自分の考えを友達とやり取りして、志願書を書くことができる。</b></p> <p>○単元の目標・本時の目標を JTE と ALT、生徒とやり取りしながら理解する。</p> <p>○Read Eri のレポートを読み取る。</p> <p>○Speak 友達とやり取りをして、自分の考えを伝え合う。</p> <p>○Write やり取りをしたことをもとに、志願書を書く。</p> <p>○振り返り</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
9	<p><b>◆コロナ後、職場体験プログラムに参加するために、志願書を書くことができる。</b></p> <p>○前時に学習したことを元に、志願書を完成させる。</p>	書	書	書	◎単元の評価規準 エ・オ・カ <行動観察・ワークシート・振り返りシート>
後 日	パフォーマンステスト(※)	書	書	書	◎ループリック参照
	定期テスト	読	読	読	◎単元の評価規準 ア・イ・ウ

(※) パフォーマンステストについて

◎パフォーマンステストの内容

富士河口湖町の姉妹都市であるスイス・ツェルマットの中学生が、日本の中学生の「将来の夢」について調べ学習をしています。そこであなたは、「将来の夢」というタイトルでスイスの中学生にレポートを送ることになりました。あなたの好きなことや興味・関心のあること、将来の夢や職場体験でやってみたいことをもとに、その理由なども含めて書いてください。

◎パフォーマンステストにおけるルーブリック（評価基準）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	不定詞の副詞的用法、接続詞 because などを使って、誤りのない正しい英文で書くことができる。	書く順番を工夫したり、具体例を交えたりしながら、相手に伝わりやすい表現で、自分の考えや気持ちなどをまとまりのある文で書いている。	書く順番を工夫したり、具体例を交えたりしながら、相手に伝わりやすい表現で、自分の考えや気持ちなどをまとまりのある文で書こうとしている。
b	不定詞の副詞的用法、接続詞 because などを使い、誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて書くことができる。	相手に伝わりやすい表現で、自分の考えや気持ちなどをまとまりのある文で書いている。	相手に伝わりやすい表現で、自分の考えや気持ちなどをまとまりのある文で書こうとしている。
c	bを満たしていない。	bを満たしていない。	bを満たしていない。

◎パフォーマンステストにおける具体的なゴール（aの姿）

Hello. I'm Sakura. I want to be a math teacher. When I was in elementary school, my teacher taught me kindly. I like studying math because it is interesting. I can teach the students math friendly. I want to go to school for my work experience to help elementary school students. I think working at school will not be easy, but it will be fun.

8 本時の学習

(1)日時 令和4年11月22日(火) 5校時

(2)場所 小講堂

(3)目標 コロナ後、職場体験プログラムに参加するために、Eri が書いたレポートを読み、自分の考えを友達とやり取りして、志願書を書くことができる。

(4)展開

時間	生徒の活動	指導者の活動	指導上の留意点
5分	<p>○【Greeting】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをする。</li> </ul> <p>○【Warm-up and Review】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の登場人物について話し、Unit 6 の内容を復習する。本時の目標と単元の目標を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをする。</li> <li>・JTE、ALT と生徒、生徒同士のやり取りの中で、教科書の登場人物について話し、Unit 6 の内容を復習する。</li> <li>・本時の目標と単元の目標を確認する。</li> </ul>	
<p>&lt;Warm-up and Review( Unit6 )&gt;            ALT(A), JTE(J), Students(S)が対話</p> <p>J : Today, we have many guests. They don't know the characters well in the textbook.            Who is the main character in it?</p> <p>Ss : Kota.</p> <p>J : Yes. Please tell today's guests about Kota. Who is Kota? I will give you 1 minute.            Let's think about Kota. You can use your digital textbook and you can talk with your friend.</p> <p>Ss : ( talking with friends, checking the digital textbook for 1 minute )</p> <p>J : OK. It's time to share your idea. Please tell them about Kota.</p> <p>Ss : Kota is a junior high school student. / His name is Imura Kotaro. / He has friends.            He is in the brass band club. / He likes playing trumpet. /            He doesn't like spring because he has hay fever.</p> <p>J : OK, you did a good job. Now, let's tell today's guests about Kota's work experience.            Where did he go for his work experience?</p> <p>Ss : He went to an elementary school.</p> <p>A : And where did he do there?</p> <p>Ss : He helped a teacher with an art and crafts class. / He made Japanese kites.</p> <p>A : Did he enjoy working there?</p> <p>Ss : Yes, he did.</p> <p>J : So, today let's read Eri's work experience and share your ideas with your friends. After that, let's write your application for your work experience.</p>			

**Today's Goal**

コロナ後、職場体験プログラムに参加するために、Eri が書いたレポートを読み、自分の考えを友達とやり取りして、志願書を書くことができる。

15分

○ 【Activity 1 Reading】  
<Listening and Comprehension>

**概要を読む**

・学習者用デジタル教科書を用いて、Eri の職場体験のレポートの概要を読み取る。質問の答えとなる部分に下線を引く。

OK. Today, you will read Eri's work experience and talk about your own idea.

・教師用デジタル教科書で Eri の職場体験のレポートを一度聞かせる。

<予想されるやり取り>

J : Eri wrote the report about her work experience for you. First, let's listen to it together.

<一斉に聞く>

Ok. I will ask you. Where did she go for her work experience?

S : Aquarium.

J : That's right. She went to an aquarium. Next, Rudy sensei will ask you 2 questions. Find the answers and draw the line in your digital textbook.

A : No.1: What did she do there? She did 2 things.

A : No.2: What did she feel after working?

J : I will give you 5 minutes. You can use the digital text book. Let's read Eri's report.

・ talk about the answers with friends

・読み取りが難しそうな生徒に対して机間指導を行う。

※生徒とのやり取りは基本的に英語で行う。

Before checking the answer, you can talk with your friends. I will give you 1 minute. Please check the answer with next to your friend.

OK. It's time to check the answers together. Eri went to an aquarium for her work experience. Question No.1: What did she do there?



<p>20分</p>	<p>S 1 : She helped the staff with an event, the “Touch Pool.”</p> <p>S 2 : She stood by the pool to introduce the names of the fish to small children.</p> <p>S 3 : She felt ( that ) working at an aquarium is not easy because she must take care of living things, but it was fun.</p> <p>S 4 : I was happy when I could.</p> <p>○ 【Activity 2 Speaking (Interaction)】</p> <p>・Eri の職場体験のレポートを読んで、自分の考えを伝え合う。</p>	<p>All right. Question No.2: What did she feel after working?</p> <p>That’s right. What else?</p> <p>OK!</p> <p>You read Eri’s report. I want to ask you one more question. But there is no answer in the text book. Please think and tell us your own idea.</p> <p>やり取りの最中に必要であれば(デジタル教科書で)考える際のヒントを与える。</p>	
<p>&lt;想定される T-S のやり取り&gt;</p> <p>※以下は教科書 p79 にあるリスニング活動の内容を基にしているが、下線部は音声スクリプトのみに記載されている内容である。それ以外は教科書の Unit6 の中に記載されている内容である。</p> <p>J : Eri went to an aquarium for her experience. Kota went to an elementary school for his work experience. How about Tina? Do you remember?</p> <p>S 1 : Yes. Tina went to <u>a nursing home</u>.</p> <p>J : That’s right. They enjoyed their work experience. For example, Eri enjoyed it because she likes taking care of sea animals and she could help the staff. How about Tina? She enjoyed her work experience. Why?</p> <p>S : Because the people there were very kind. / Because <u>she enjoyed singing and making origami with them</u>.</p>			

<T-T のやり取り>

J : Rudy sensei, if you have a chance, where do you want to go for your work experience and why?

A : I want to go to a zoo because I like taking care of animals. They are interesting!

J : I see. But you have to watch small children. Are you good at taking small children?

A : Yes, I am. I like playing with them.

J : Oh, that's nice. I want to go to an elementary school to teach English. When I taught elementary school students English at juku, it was very fun. I want to try it!

A : That's interesting. Why do you study English hard?

J : I study English hard to be a good English teacher!

<想定される T(ALT)-S のやり取り>

A : So, where do you want to go and why?

S1 : I want to go to a restaurant because I like cooking.

A : Oh, it's nice. What are you good at cooking?

S1 : I am good at cooking curry and rice.

A : Do you help your family with cooking?

S1 : Yes, I do.

A : Good. I want to try to eat your curry and rice. Any other student?

S2 : I want to go to an elementary school because I want to be a teacher.

A : What is your favorite subject?

S2 : My favorite subject is Japanese.

A : I see.

・ペアで自分の考えを英語で1分間伝え合う。

<予想されるやり取り>

S1 : Where do you want to go and why?

S2 : I want to go to a hair salon because  
I want to learn about stylist.

S1 : That's interesting!

I want to go to nursery school because  
I want to take care of small children.

S2 : Oh, That's nice!

OK, Everyone. If you have a chance,  
where do you want to go and why?  
Let's talk with next to your friend. I  
will give you 1 minute.

・ sharing する。

Please tell me your idea.

1～2 ペアを指名する。

<p>7 分</p>	<p>&lt;予想されるやり取り&gt;  S 1 : Where do you want to go and why?  S 2 : I want to go to a hair salon because I want to learn about stylist. And I like talking with many people.  S 1 : That's interesting! Do you like fashion?  S 2 : Yes, I do. I like reading fashion magazines. Where do you want to go and why?  S 1 : I want to go to nursery school because I like taking care of small children. When I was in elementary school, I was good at taking care of 1 年生. It was fun.  S 2 : Oh, That's nice! What did you think of 1 年生?  S 1 : Well, they were very cute and active. I enjoyed playing with them. We were able to communicate well.</p> <p>○ 【Activity 3 Writing】</p>	<p>※中間指導</p> <p>・志願書を書くために、必要な情報(例えば自己 PR やこれまでの経験など)を伝えられているか。あるいは、相手の好きなことや興味関心のあることについて、より深く知るための質問をしているか? 【内容面】  そのための表現を振り返る。【言語面】  2 回目へ。</p> <p>OK. Now, let's write the application form for your work experience. You have 7 minutes today. You can use your digital text book if you want.</p> <p>・やり取りをして伝えたいと思ったことも付け加えるように促す。  ・3分ほど書かせた後、言語面がうまく表現できない生徒がいる場合、学習者用デジタル教科書から使用できそうな表現を必要に応じて探させる。  ・使用できそうな表現は次回の授業で全体に共有する。</p>	
----------------	---	---	--

3分	<p>○【Reflection】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標を達成することができたか、振り返りシートに記入する。</li> </ul> <p>○【Greeting】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標に基づいて振り返りをさせる。</li> <li>・次回の授業で学習者用デジタル教科書から探し出した言語面で使用できそうな表現を全体に共有することと、志願書を書き上げることを伝える。</li> <li>・書くことの言語面の指導を次回の授業で行うことを伝える。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをする。</li> </ul>	

【想定している Goal の Writing】

My name is Asami. I'm 14 years old. I am good at using a computer. When I joined a program lesson, I was able to do my best. Now, I study English hard because English is important for my job. My goal is to make a great robot to help many people.

(5) 評価

※本時は、「記録に残す評価」は行わないが、以下のように評価の観点に記載する。

「読むこと」の思考・判断・表現

十分満足できる状況(a)	おおむね満足できる状況(b)	努力を要する状況(c)と指導の手立て
職場体験プログラムの志願書を書くために、登場人物の職場体験スピーチやレポートの概要を捉えている。	職場体験プログラムの志願書を書くために、登場人物の職場体験レポートの概要を捉えている。	職場体験プログラムの志願書を書くために、登場人物の職場体験レポートの概要を捉えていない。 →机間指導で個別指導を行う。改善点について振り返りシートに記入する。

「書くこと」の思考・判断・表現 ※本時と次時で評価

十分満足できる状況(a)	おおむね満足できる状況(b)	努力を要する状況(c)と指導の手立て
コロナ後、職場体験プログラムに参加するために、教科書の内容や表現を参考にして、自分の考えを友達とやり取りし、志願書を書いている。	コロナ後、職場体験プログラムに参加するために、自分の考えを友達とやり取りして、志願書を書いている。	コロナ後、職場体験プログラムに参加するために、自分の考えを友達とやり取りして、志願書を書いている。 →机間指導で個別指導を行う。改善点についてワークシートに記入する。